

華麗なる選択 ～カレーVS洗濯～

熊本市立五福小学校 5年 田嶋 百花

1 研究の目的

料理をしていて、カレーがはねて洋服についた。「カレーって落ちにくいよね～」と母が言った。そこでカレーがよく落ちる方法を調べてみようと思った。

2 研究の方法と予想

カレーをつけた布と、色々な洗浄液を準備し、3つの実験を行い比較する。

(1) 色々な洗浄液を使用し、液と洗濯物を一緒に振る回数を変え、洗浄力の比較をする。

水・衣料用洗剤（希釈）・食器用洗剤・ハンドソープ・米のとぎ汁・重曹・酢を使用。

水	そのまま	米のとぎ汁	そのまま
衣料用洗剤	水 1 L につき 0.8mL	重曹水	水 1 L に 2 g
食器用洗剤	水 1 L につき 0.75mL	酢	倍希釈
ハンドソープ	水 100mL に 3 プッシュ		

カレー汚れのついた布と洗浄液 100mL を容器に入れ、一定回数（100 回、500 回）振り、洗浄液を捨て、水 100mL ですすぎ、干した後比較。その結果、100 回よりも 500 回振るほうが、汚れ落ちがよかった。衣料用洗剤が一番落ちたが、色々な洗浄液での大きな差は見られなかった。そこで、原液を直接汚れに付けて 500 回振る追加実験を行うと、一番よく落ちた。

(2) つけ置き時間による汚れ落ちの比較をする。

カレーをつけた布に衣料用洗剤（原液）を付け、つけ置き時間を 0、5、10、15、30 分、1 時間、12 時間にして比較する。その結果、15 分以上のつけ置きが一番落ちた。

(3) 水温による洗浄力の比較をする。

カレーをつけた布に衣料用洗剤（原液）を付け、水温を、常温・40 ・60 ・80 にしたものを 100mL 入れ、15 分つけ置きした後に比較する。その結果、80 が一番よく落ちた。

3 感想とまとめ

洗浄液の成分を見てみると、「界面活性剤」という成分がある。「界面活性剤」というのは、普通混ざらない水と油などが、これによって混じり合う。だから、「界面活性剤」の濃度が一番高い衣料用洗剤がよく落ちたのだと思う。

今回、色々実験してみて、カレー汚れが最も落ちる洗濯方法は、

【 衣料用洗剤の原液を汚れに直接たらし、15 分以上つけ置きして、80 度の水温で 500 回振る 】
ということが分かった。